

農林水産研究基本計画の見直しに関する前回（2月17日） の意見のポイント（案）

【総論】

○研究基本計画の検討を進めるまでの留意点

- ・ 我が国の研究開発は、予算を増やすか効率的に実施していくのか、予算を拡大して取り組んでいくのか
- ・ 研究の方向について、生産性向上と有機農業など両立しないものがあるが、それらを統合して示すか、消費者等のニーズが多様化している中で、多様な選択肢を提供していくか
- ・ 大学や経済界の組織等の意見

○研究基本計画の重点目標の検討を進めるまでの留意点

- ・ 食料自給率の向上、農林水産業の担い手確保、食の安全、地球温暖化対策など、農林水産省の目標
- ・ 海外での農地の確保など、グローバルでダイナミックな国際的な動き
- ・ 国として獲得していくべき知財
- ・ 将来に向けた、夢のある長期的な研究
- ・ 考えられる成果や将来的な実現の見通し
- ・ 日本人の食生活のあり方を踏まえた、研究の方向性
- ・ 数値化が効果的

【個別論点】

○食料生産に関する研究目標

- ・ 自給率向上に向け、パン等に適した米粉利用にかかる技術開発についての食品業界と連携
- ・ カロリーベースの自給率に寄与しない野菜、花など付加価値の高い作物の研究の実施
- ・ 様々な意匠をもつ農法の総合的理解

○地域研究、产学官の研究協力、異分野での活用

- ・ 公設試の研究勢力が弱体化する中、地域研究の推進・支援
- ・ 農林水産研究の担い手としての大学の役割の明確化
- ・ 農林水産研究の成果を異分野にも積極的に活用

○広報・情報発信

- ・ 開発された技術の現場等への発信